

プレスリリース - 2022 年 11 月

写真提供:株式会社みよい



GLOBALG.A.P.が提供する、農場現場での社会課題管理ツール「GRASP」 のアジアでの活用拡大

タイ、ベトナム、中国、台湾、韓国、マレーシア、インドネシア、フィリピンなどアジア各国で展開されている [GLOBALG.A.P. 社会実践のリスク評価 \(GRASP\)](#)。この度、これらの国々に続き日本で初めて GRASP の評価が行われました。

日本での GRASP 導入にあたり、GLOBALG.A.P.は 2022 年 4 月に日本向けの[国別解釈ガイドライン \(NIG\)](#) を新しく公開しました。NIG は、日本の国別技術作業部会および国内労働法に精通する日本の弁護士と協力して開発されたもので、日本市場の状況に適し、費用対効果が高く柔軟な評価サービスになっています。

青果物の生産者である株式会社みよい (GGN 4063061844804) は、日本で最初の GRASP 評価を受け、このことを通してアジアの農業分野における社会的責任の新たな重要な一里塚を築きました。

責任ある社会的実践のための解決策を求める声に応える

日本で[総合農場保証 \(IFA\)](#) 規格が導入されてから 5 年が経過した今、小規模農家や家族

経営農場など、あらゆる種類や規模の生産者が IFA 認証を受けた生産工程に合わせて GRASP を利用できるようになりました。アジアの小売業者、ブランドオーナーおよび消費者から、生産現場における社会的に責任ある経営管理を求める声が高まっていますが、GRASP はこれらの要請に対応するものです。サービス開始からこれまで 18 年間にわたり、GRASP の包括的なサービスは広く適用され、現在では世界中のおよそ 100 カ国で試行と改良を繰り返して、信頼されるものとなってきました。

本件の重要性は、国内や海外で生産された農作物に関する調達方針に GRASP を活用しようとするイオンや日本マクドナルドなどの企業の言葉からも明らかです。

イオンサプライヤーCoC 事務局の新井裕二氏は次のように述べています。「弊社は弊社が調達する農作物が責任ある方法で生産されていることを確実にするために、食品安全、サステナビリティ（環境・社会課題）に関する調達方針を設定し、生産者の皆様、サプライヤーの皆様にご協力をいただきながら、方針にのっとった農作物の調達を続けています。今後はより信頼性の高い第三者による確認を活用する方針です。GRASP の審査が日本国内においても可能になったことで、この方針をさらに力強く前に進めることができると確信しています。また、国外から輸入される農作物に関しても、GRASP を活用することで人権課題のリスクが低い商品を安心して調達できる環境が整えられることを期待します。」

日本マクドナルド株式会社サプライチェーン本部 食品安全・品質システム部 森谷亮氏からのコメント：「マクドナルドでは“私たちは、食の安全をすべてに優先させます”の方針のもと、2010 年よりレタスでマクドナルド GAP の取り組みを開始しており、2019 年からは GLOBALG.A.P. とマクドナルド GAP を合わせた GLOBALG.A.P. Plus を通じて、食の安全はもとより、労働安全衛生や持続可能な調達も推進しております。2022 年に GRASP の国別解釈ガイドライン（NIG）が発行されたことを受け、生産者の人権保護を進め、持続的なサプライチェーンの構築を推進してまいります。」

労働者の健康、安全および福祉を保護する

GRASP は、国際的に広がるサプライチェーンにおける農場現場の社会課題管理ツールです。IFA 基準が対象とする農業、花卉生産、水産養殖に適用されます。現在、世界の GLOBALG.A.P. 認証数の 50% 超に相当する 11 万件超の農場が GRASP 評価を受けていますが、現在増加中のアジアの生産者がその仲間入りをするようになります。

業界関係者との広範な協議を通じて開発された GRASP は、社会的責任に関する 4 つの主要な柱、つまり、労働者の声、人権・労働者の権利に関する情報、人権・労働者の権利に関する指標、および児童・未成年労働者保護を含有するものです。国連のビジネス

と人権に関する指導原則や、国際労働機関 (ILO) の中核的労働基準といった主要な事項をカバーしています。

そのため生産者は、世界的に認められた GRASP を活用することで、自らが行う責任ある社会実践を評価し、改善し、それを外部に示すことができます。そして、アジアやそれ以外の新しい市場への輸出の機会を増やすことができます。GRASP の評価は IFA の監査と組み合わせて行われますので、評価にかかる時間とコストを削減できます。

GLOBALG.A.P. のマネージングディレクターである Kristian Moeller 氏は、「私たちは、イオンやマクドナルドなどの長期的なコミュニティメンバーと協力して、日本の国内外で責任ある調達方針を促進し、強化することに取り組んでいます。私たちのスマート農場保証ソリューションは、アジアの農業分野に貢献し、GGN ラベルは、消費者が求める高いレベルで確保されたサプライチェーンの透明性を提供するものと確信しています。」とコメントしています。

消費者向け GGN ラベルの採用拡大

[GGN ラベル](#)は、認証された責任ある農業とサプライチェーンの透明性が確保されていることを示す、農業、花卉生産および水産養殖を対象とする分野横断的な消費者ラベルです。GRASP 評価で満点を取得することは、農場レベルでの IFA 認証およびサプライチェーン全体での [GLOBALG.A.P. 生産・加工・物流管理 \(CoC\) 認証](#) とともに、GGN ラベルを使用するための主要な条件です。ラベリングに必要なすべての認証が整っていることが GLOBALG.A.P. の IT システムを通じてリアルタイムで検証されることではじめて、GGN ラベルの使用が許可されることになります。

GGN ラベルには厳格な条件が要求されており、サプライチェーンを通して他にはない高いレベルでサプライチェーンの透明性が保持され、認証を受けた生産工程で生産された生産物の分別、透明性、整合性が、店頭に至るまでのサプライチェーン全体で維持されます。これにより、製品の信頼性が確保され、偶発的または意図的な食品偽装のリスクを軽減し、ブランドに対する消費者からの信頼を構築することができます。日本の小売業者であるイオンは、プライベートブランドであるトップバリュの商品に 2023 年 4 月以降、国内初となる GGN ラベルを表示させるべく準備を進めています。

タイと中国ではすでに GGN ラベルが利用されており、生産者と小売業者は、店頭に並ぶ製品が責任ある農業/水産養殖により生産されたものであることを消費者に示すことができます。現在、GGN ラベルを付けた製品は 5 大陸 40 カ国で販売されており、食品の安全性、環境持続可能性、労働安全衛生・福祉、動物の福祉、トレーサビリティといった主要事項が確保されていることを示すことで、消費者に安心感を与えています。

承認された認証機関の増加

[日本向け GRASP NIG](#) (国別解釈ガイドライン) を含め、GRASP に関連するすべての基準文書は日本語と英語の両方で GLOBALG.A.P.のドキュメントセンターから入手できます。日本国内において GRASP の評価を実施できる認証機関は以下の通りです：

- 一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)
- テュフズードジャパン株式会社
- SGS ジャパン株式会社 (申請中)

一般財団法人日本品質保証機構 (JQA) マネジメントシステム部門 GAP 認証室 室長林高広氏は、「日本向け NIG が発行され、JQA が日本国内で初めて GRASP 評価を実施いたしました。規格要求事項と国内法の理解を深め、評価に臨み、100%適合となる結果に至りました。今後も日本における GRASP 評価の普及に努めてまいります。」と述べています。

GRASP 評価、その意義および取り組み方についてのより詳しい情報は、GLOBALG.A.P.ウェブサイトの [GRASP](#) のページをご参照ください。

GLOBALG.A.P.について

GLOBALG.A.P.は、ドイツのケルンにある FoodPLUS GmbH が生産者、小売業者およびその他の食品業界関係者の協力を得て開発したスマート農場保証ソリューションのブランドです。GLOBALG.A.P.のサービスには、安全で社会的、環境的に責任ある農業のための一連の基準があります。中でももっとも広く活用されている GLOBALG.A.P.規格は総合農場保証 (IFA) であり、青果物、水産養殖、花卉、畜産などを対象とします。この規格はまた、認証された責任ある農業と透明性を示す消費者ラベルである GGN ラベルの基礎となるものです。

GLOBALG.A.P.ブランドは 1997 年 EUREPGAP としてその歩みを始めました。それから 25 年、現在では 132 カ国で 20 万をこえる生産者が GLOBALG.A.P.認証を取得しています。将来の世代に渡り安全な食料を確保できるよう、世界中でおよそ 150 人のチームメンバーが責任ある農業を広めるという使命を持ち活動しています。

GGN ラベルについて

GGN ラベルは、認証された責任ある農業と透明性を示す消費者向けラベルです。このラベルは、包装された、もしくはばら売りの青果物、養殖水産物、花卉に表示され、その製品が動物の福祉や社会的・環境的責任といった価値観に沿ったものであることを、消費者に対してわかりやすく一貫性を持って示しています。

製品パッケージのロゴとともに 13 桁の識別番号が印字されています。この識別番号を GGN ラベルのウェブサイトで入力すると、その製品の生産地を確認することができます。GGN ラベルのついた製品はすべて、GLOBALG.A.P.認証または同等性が認められた認証の厳格な基準にしたがって第三者機関により監査と認証を受けた生産工程で管理された農場から出荷されたものです。

GGN ラベルは、ドイツのケルンにある FoodPLUS GmbH が所有するものです。詳細については、www.ggn.org をご参照ください。